

(公社) 日本気象学会 沖縄支部だより

発行：日本気象学会沖縄支部事務局
〒900-8517 那覇市樋川 1-15-15
那覇第一地方合同庁舎
沖縄気象台防災調査課内

平成 30 年度沖縄支部研究発表会

平成 31 年 2 月 28 日、西原町の琉球大学理系複合棟 202 号室において、沖縄支部研究発表会を 38 名の参加で開催しました。

開会の挨拶（概要）：益子直文 理事

始めに、琉球大学様には本日の研究発表会の開催にあたり、会場の便宜を図っていただいた。心より御礼申し上げます。

さて、近年非常に顕著な気象現象が多く発生している。それに伴い、大きな災害も発生している。昨年（平成 30 年）7 月には、西日本を中心とする豪雨による甚大な災害があった。このように近年の雨の降り方は局地化し、集中化し、激甚化している。これらは、地球温暖化が影響しているといわれており、このような現象の解明や探究、追究をすることは学会支部として力を入れてやっていくべきと考えている。

本日は 15 題の研究発表があり皆さんの忌憚のない意見交換を期待している。予稿集を拝見したところ、台風を取り上げてその特徴や現象の解析、さらに数値実験を行った研究、また、大雨事例に着目して、その構造、発生要因、大気あるいは海洋との熱交換に着目した研究、波浪の研究、顕著現象として竜巻に着目した調査・研究等、いずれも非常に深い考察と斬新な観点での調査がなされているように感じた。このように、さまざまな角度から議論ができるということは互いの新しい知見の獲得にもつながると思う。

発表 15 題

研究発表会（前半座長：山下順也理事、後半座長：林和彦会員）では、昨年より 2 題多い計 15 題（琉球大学 10 題、沖縄気象台 4 題、沖縄気象台・琉球大学連名 1 題）の発表がありました。参加者は昨年（35 名）よりも増え、様々な視点から活発な議論があり、貴重な意見交換の場となりました。

閉会の挨拶（概要）：伊藤耕介 理事

研究発表会には毎年参加しており、非常に貴重な機会だと考えている。我々研究をしている側からは、気象台での実際の作業の話を具体的に聞ける機会というのはなかなかない。また、学生さんの研究を大学内の卒業研究発表として閉じるのではなく、沖縄気象台の方に聞いていただいて、知識として有効に使っていただけるという側面もある。今回の研究発表会でも、いろいろな発表があり、興味深く感じた。今回に限らず、今後もお互いにさらに交流をもち、研究交流としてあるいは業務として発展していけばさらに素晴らしいことだと感じた。



開会の挨拶をされる益子理事



琉大から多くの発表がありました



質疑応答も活発でした



発表題数、参加者ともに昨年を上回りました



先生方から貴重なお意見をいただきました



閉会の挨拶をされる伊藤理事

報告：離島お天気教室

次の日程で離島お天気教室を開催しました。

H30. 9. 12 竹富町立波照間小中学校

H30. 11. 9 北大東村立北大東小中学校

○波照間小中学校(共催：石垣島地方気象台)

参加者：児童及び生徒 47名

気象台職員がお天気マスターとして登場し、「竜巻」をテーマに、現象の説明や遭遇したときの身の守り方を、わかりやすく丁寧に説明しました。また、今回は初めての試みとして、中学生を対象にした琉球大学伊藤准教授の「台風の航空機観測」の講話と、ダジック・アース（球体スクリーンに、地球や惑星を投影し、立体的に表示する）を用いた地球規模での雲の動きの説明などを



伊藤理事による講話

しました。続いて、竜巻と大気圧、雲発生の各実験を各班に分かれて行いました。



雲発生の実験

○北大東小中学校(共催：南大東島地方気象台)

参加者：児童 34名、生徒 18名

新しい企画「ダジック・アース」を用いたミニ講話を行い、台風の「発生」、「経路」、「消滅」までの一連の流れを説明しました。実験コーナーでは昨年人気の高かった「熱気球」を実施し、温かい空気で気球が上がることを体感してもらいました。



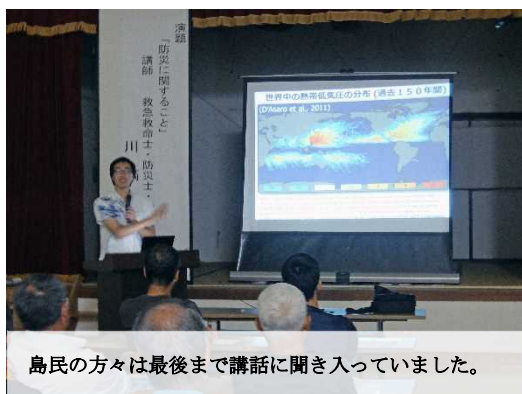
「ダジック・アース」を用いたミニ講話



熱気球実験

報告：離島防災気象講演会

○9月11日 波照間島



島民の方々は最後まで講話に聞き入っていました。

場所：波照間村農村集落センター、参加：27名
講演者：伊藤耕介 琉球大学理学部准教授

(沖縄支部理事)

演題：「2017年台風第21号の航空機観測を用いた強度解析と予測」

2017年10月21～22日に、台風第21号の中心付近に観測機器を投下する航空機観測を日本人研究者として初めて実施した。航空機観測の体験談を交えながら、その解析の結果の内容や今後の航空機観測の行方について講話を行いました。

報告：気象サイエンスカフェ

平成30年12月15日に那覇市泉崎のCafé Ventoで第3回気象サイエンスカフェ in 那覇

「航空機による台風観測でみえたもの」を開催しました。話し手に琉球大学の伊藤准教授を迎え、進行役（ファシリテーター）はNHK沖縄のお天気キャスター斎藤さんが行いました。参加者は、会場いっぱいの42名でした。会は、伊藤准教授がユーモアを交えながら説明し、質問を随時受け付けるスタイルで進めました。また、斎藤キャスターが、状況をみながら時折質問を行いました。これにより和やかな雰囲気となり、話し手・進行役の意図通り会場から次々と質問があがり、休憩



開始前から多くの参加者がつめかけました



息の合った進行で和やかな雰囲気となりました



質問に耳を傾ける伊藤准教授と斎藤キャスター



台風の眼に突入した瞬間の動画は印象的でした



最後まで興味深い話が続きました

休憩時間の確保や終了時間が気になる程の盛り上がりとなりました。

なお、参加者のアンケート結果で、伊藤准教授の説明は、「とても分かりやすかった」と高い評価をいただきました。

(共催：日本気象予報士会沖縄支部、沖縄気象台)

事務局からのお知らせ

■「沖縄支部だより」への原稿募集

「沖縄支部だより」へ掲載する会員からの原稿を募集しています。

沖縄支部会員の活動報告、気象知識の普及活動の状況、沖縄の気象に関する事例解析・統計調査など情報交換に役立つ原稿であればどのようなものでも結構ですので、支部事務局までご投稿ください。会員各位の自由な投稿をお願いします。

■住所変更届のお願い

転居や転勤により登録情報に変更が生じた際には、次の方法で手続きを行ってください。

○ご本人による手続き（オンライン申請）

気象学会本部ページの「入会案内」ページにて登録情報の変更を行います。

【方法】気象学会本部ページの「入会案内」ページにおいて、「[会員登録情報の変更](#)」

<https://www.metsoc.jp/membership-2/update-2>

画面に入り、必要事項を記入の上、送信することで手続きは完了します。ご不明な点がありましたら事務局へお尋ねください。

■メールアドレス登録のお願い

支部だより発行、総会などの開催通知等は支部全会員にE-mailで配信しています。まだ登録されていない会員の方は、会員氏名・番号、E-mailアドレスをご登録いただくようお願いします。

登録は、住所変更届と同様に「[会員登録情報の変更](#)」からのオンライン申請でお願いします。

■日本気象学会への入会案内

みなさまの周りに気象学を専攻している・気象関連の仕事をしている・気象に興味を持っているような方がいらっしゃいましたら、日本気象学会への入会をお勧めいただくようお願いします。支部事務局へご連絡いただければ、入会方法などご案内します。

日本気象学会沖縄支部事務局

TEL：098-833-2186 FAX：098-833-4292